

# 議員団 ニュース

日本共産党平塚市議会議員団  
電話 0463-23-1111 (内線 2375)

平塚市浅間町9-1 平塚市議会控室

日本共産党平塚市議会議員団  
団長 渡辺敏光  
電話・fax 31-6431  
w\*toshi@agate.plala.or.jp  
松本敏子  
電話・fax 59-4607  
mail@matsumoto-toshiko.jp

日本共産党議員団の法律相談  
今回は 3月8日(土)  
午後1時 (要予約)

No.965 2008年2月10日発行

## 「湘南新道」から129号線の接続部分に 右折帯がほしい!

### 共産党議員団 地元住民と現地調査

交通渋滞の緩和などを図るため、県が進めているこの湘南新道は、相模川から国道129号線・平塚伊勢原線・平塚秦野線を経て大磯町境までを結ぶ道路として計画されています。現在、湘南銀河大橋から129号線までの整備がほぼ終り、今後、新道は129号線とは側道を通じるようにし、

129号線の下をくぐって西に進む計画になっているといえます。この橋を利用する車は非常に多く、朝は寒川方面にいく車が渋滞し、夕方は銀河大橋を渡って帰る車でさらに渋滞。ところが、129号線にぶつかる交(次ページへ)



上記のメールアドレスまたは電話にて、皆さんからのご意見・ご要望をお寄せください。

差点に右折帯がないために、右折車が止まると直進の車も動かせません。待ちきれない車が、無謀な追い越しをして危ないと、住民の方からも渋滞による苦情が出ていました。

そこで、5日朝7時、地元住民の方々とくらし福祉相談室長の高山氏、共産党議員団2名とでまず現地を見てきました。

朝より夕方のほうが深刻だということですが、歩道橋から約1時間調査しただけでも、直進する車は、右折車を回避するために左折車線に一旦入って直進して行ったり、右折に慣れている車は、右側にある斜線部分に侵入して右折するなど、危ない場面が何度も見られました。

この129号線にぶつかる交差点には右折帯がないのに、その手前の交差点には、ほとんど右折する車はいなくても右折帯が設置されています。

危険だという地元住民の声は、いつか事故に繋がりがねないことを示唆しているのではないのでしょうか。

その手前の交差点には、あまり利用されない右折帯が広々と確保。 →



朝は、寒川方面に向かう車が長蛇の列。それが夕方には逆転し、毎日ひどい渋滞が起きているのです。



右折する車と直進する車で混雑する、銀河大橋から129号線に接続する部分



# 問題の「自治体が進める非正規雇用」

2週間前の「議員団ニュース」で、現場で働く市の職員は、正規職員が辞めると臨時（パート）職員に切りかえられ、仕事が非常にハードになっているということをお知らせしました。

臨時職員は1か月に働く時間が決められています。1週間で2人で分け合って働く、決まった曜日だけ働く、朝7時～11時まで、午後3時～7時までなど、それぞれの臨時職員が細切れに働いています。

平塚市保育所職員の状況

正規	再任用	嘱託	嘱託栄養士	臨時	計
127	1	33	2	132	295

人

上の表は、今年1月の平塚市の保育所職員の状況です。すでに、正規職員より非正規職員のほうがずっと多くなっています。

いま、保育所では待機児童を出さないために、年度途中から入所枠を増やし年度末近くには定員の135%まで受け入れています。そのために、臨時職員をさらに増員することになるのです。しかし、この臨時職員を探して採用する仕事はその園長に任されており、どこの園長先生も臨時職員の確保に頭を悩ませています。

平塚市立保育園は全部で10園ありますが、それぞれの園で働く正規の保育士は概ね10人～13人、臨時は10～17人となっています。この臨時職員の確保に責任を持たされるわけですから大変です。

嘱託職員の条件

	保育士	調理・労務
一日の勤務時間	7時間	8時間
1週間の勤務時間	平均35時間	平均30時間
月の賃金	16万4300円	12万円
資格・条件	保育士資格	なし

また、嘱託職員は正規の職員とほとんど同じ仕事をしていますが、1年ごとの契約で、5年が限度となっています。年々仕事に慣れて、やる気満々で率先して仕事をしていても賃金は上がりません。

そして、嘱託調理員は、この金額では自活すらできません。

臨時職員の時給は、保育士の有資格者で890円、幼稚園の先生の免許を持っていても保育士の免許ではないため775円です。調理職員は調理師の免許を持っていようと「必要なし」とされ775円。

この金額を提示して臨時職員を確保しなくてはならない施設長、そして、どんなに意欲的に働いても認められない臨時職員の賃金。正規職員は、そうした臨時職員のできない部分を補うために、今まで以上に精神的にも肉体的にも疲れるといいます。

人件費削減は、こうした人たちの並々ならぬ努力によって行われているのです。

## ひばり幼稚園で「楽しい人形劇」



平塚市立ひばり幼稚園では、2月6日午前9時半から「コクリコ劇団」による人形劇が行われました。

いつもなら、幼稚園に送ってきて「じゃあね」と言って帰るお母さんたちも、この日は入園前の子供たちも連れてきて、園児とともに楽しい時間を過ごしました。

この日演じたのは「貧乏神と福の神」と「金の斧と銀の斧」の2作でした。園児の中には人形のセリフをまねる子、お母さんのほうを何度も振り返ってはお母さんも見ていることを確認している子などいろいろでした。

幼稚園では保護者が一緒に参加する行事は年に数回。でも、今日のような人形劇は年に1回とのこと。

子どもと一緒に楽しむ行事はとても楽しみというお母さんは「もっと、こういう行事の回数を増やしてほしいと、感想文に書いてきました」とにこやかに語ってくれました。

きっと、人の心の優しさや、嘘をついたらいけないということも、人形を通して子供たちの心に温かく伝わったのでは・・・と見学させていただいた私まで心とむひと時でした。

(M)

